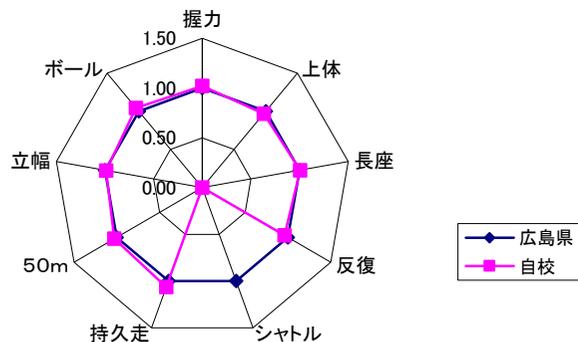


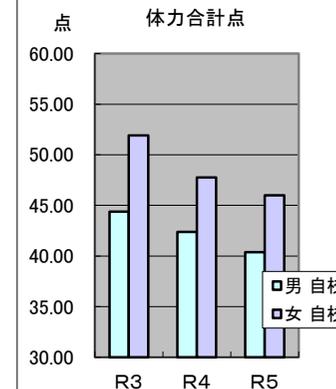
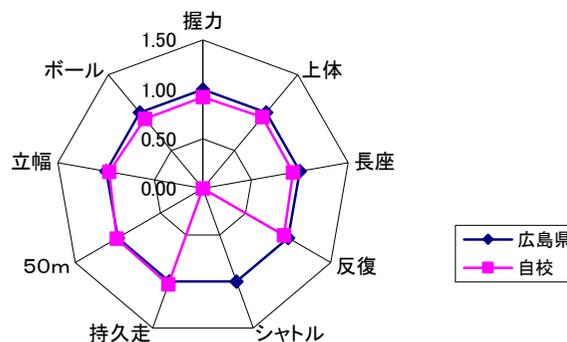
男子の体力合計点 学校 40.38 点 県平均 42.28点

女子の体力合計点 学校 46.00 点 県平均 48.60点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



体力・運動能力調査比較(中2女子)



R5体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析

① 50m走(呉市の課題種目)

- ・男女ともに、全国平均、県平均より上回っている。
- ・走る機会を増やしたことで、県平均、全国平均を上回ることができた。

②持久走(中学校区の課題種目)

- ・男子は、全国平均、県平均より上回っている。
- ・女子は、県平均は上回ったが、全国平均を大きく下回った。
- ・運動部に所属していない生徒は、保健体育科の授業以外で動きを継続する運動をする機会が少ない。

③ハンドボール投げ(自校の課題種目)

- ・男子は、全国平均、県平均より上回っている。
- ・女子は、県平均、全国平均ともに大きく下回った。
- ・男子は「投」動作を行う機会が多いが、女子は男子と比較すると機会が少なかったり、「投」への苦手意識が高く、身体を使って投げる事ができていない。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・走り方のフォーム(腕振り、膝の高さ)を改善する。 ・補強運動で走ることができるものを取り入れる。
具体的な数値目標 (男子 0.2秒, 女子 0.3秒)	
②中学校区の課題種目 (持久走)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・小中で連携を行い、走る楽しさや自分との戦いに負けないように積極的にプラスな声掛けを行う。 ・保健体育科の授業では、「走る」ことへの興味・関心をもたせ、継続的なトレーニングを行う。 ・部活動でも合同でトレーニングを行う等、生徒の意欲を高める。
具体的な数値目標 (男子 5秒, 女子 7秒)	
③自校の課題種目 (ハンドボール投げ)	具体的な取組内容 ・小中で連携を行い、投げる動作の段階的な指導を行っていきたい。 ・保健体育科の授業では、球技種目であれば投げる動作を毎時間取り入れ、フォーム改善や投力向上につなげる。 ・タオル投げやシャトル投げ等、様々なものを投げたりすることで、投げる感覚や腕の振りを意識させる。
具体的な数値目標 (男子 2m, 女子 2m)	

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)